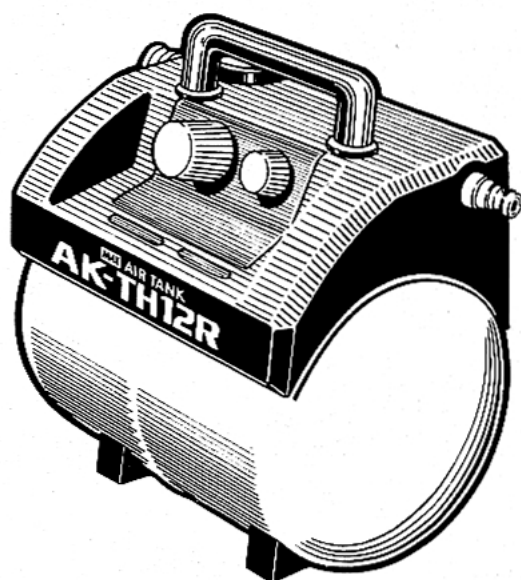


マックス エアタンク

AK-TH12R

取扱説明書



⚠ 警告

- スーパースーパーナイフ以外の用途には絶対に使用しない。
- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物（ガソリン、シンナー等）のある場所では絶対に作動させない。
- 高温や直射日光が当たる場所で絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機にエアホースを接続する前に必ず専用ホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- 移動時・作業終了時は必ずドレンコックをゆるめ、タンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- 改造及び衝撃を絶対に加えない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびはマックスエアタンクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

現品の確認

●タンクが到着しましたら次の確認を行ってください。

①ご注文の製品かどうか。

②輸送による破損や部品の紛失がないかどうか。

※上記の点で不都合がありましたら、お買求めの販売店へご相談ください。

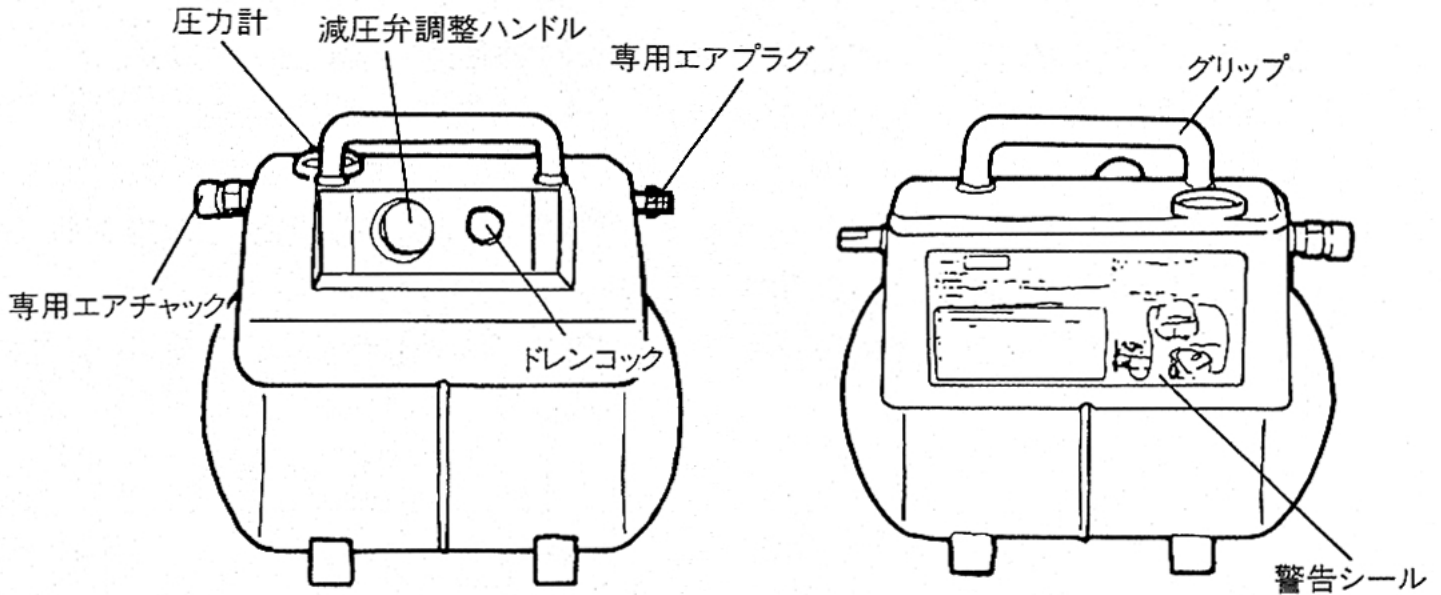
目 次

1. 各部の名称と接続システム参考例	1
2. 安全作業のために	2
3. 仕様及び付属品	8
4. コンプレッサとの接続方法	9
5. 使用方法	12
6. その他の留意点	14
7. 性能を維持するために	15

全国販売拠点、サービス拠点一覧

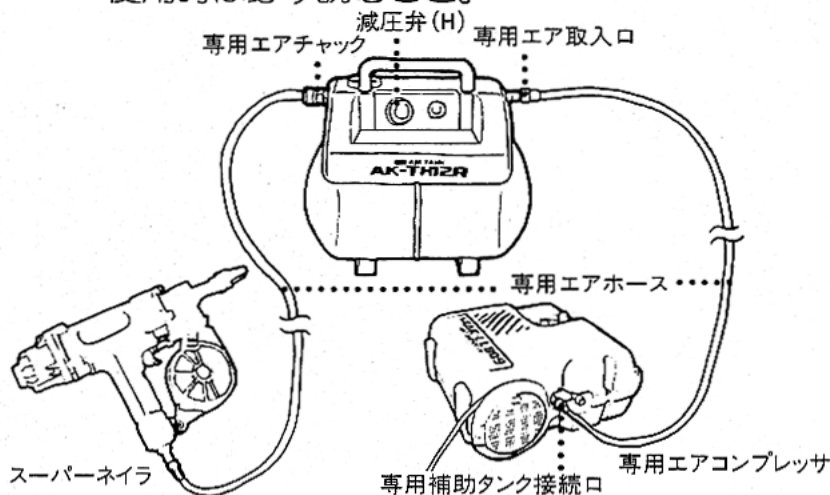
1

各部の名称と接続システム参考例



主要部品機能説明

- ① 圧力計 使用圧力を確認します。
- ② 減圧弁 スーパーネイラ専用です。スーパーネイラの使用圧力に調整します。
- ③ ドレンコック 一日一回以上、作業終了後に圧縮空気とドレン（水など）を抜きます。
- ④ 専用エアプラグ 専用エア取入口になります。
- ⑤ 専用エアチャック 専用エア取出口で、スーパーネイラ専用エアチャックになります。
- ⑥ 警告シール 使用時は必ず読むこと。



- ① 本機の専用エア取入口と専用エアコンプレッサの専用補助タンク接続口を専用エアホースで接続します。（マックス専用エアホース以外は使用できません。）
- ② 本機の減圧弁で圧縮空気の調圧を行い、専用エアチャックに専用エアホースを接続し、スーパーネイラを使用してください。

⚠ 警告

安全作業のために

本機はマックス専用エアコンプレッサ（タンク内最高圧が10kgf/cm²（0.98MPa）以上30kgf/cm²（2.94MPa）以下のコンプレッサ）のタンク容量を補助することを目的とした専用エアタンクです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

⑨文中の各部品設置箇所は1ページ「各部の名称と接続システム参考例」にて確認してください。

作業前

① 作業環境に応じた防具等を必ず着用する。

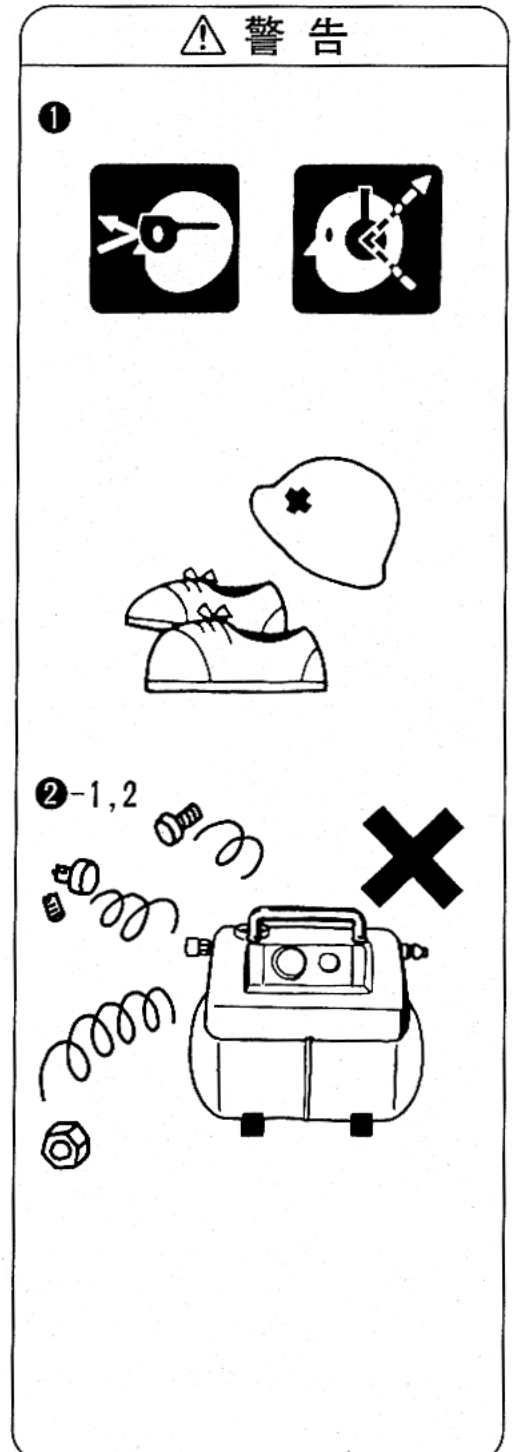
作業環境に応じて保護メガネ・防音保護具・安全帽・安全靴等の防具を着用してください。

② 使用前に必ず点検する。

エアタンク内に圧縮空気を充填する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部品が外れていたり、傷んでいないか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス係へ点検・修理に出してください。



⚠ 警告
安全作業のために

③ 本機の設置場所に関する注意

1. 硬く水平な場所に必ず設置する。不安定な場所には絶対に設置しない。

移動や落下の危険性のある場所には絶対に設置しないでください。

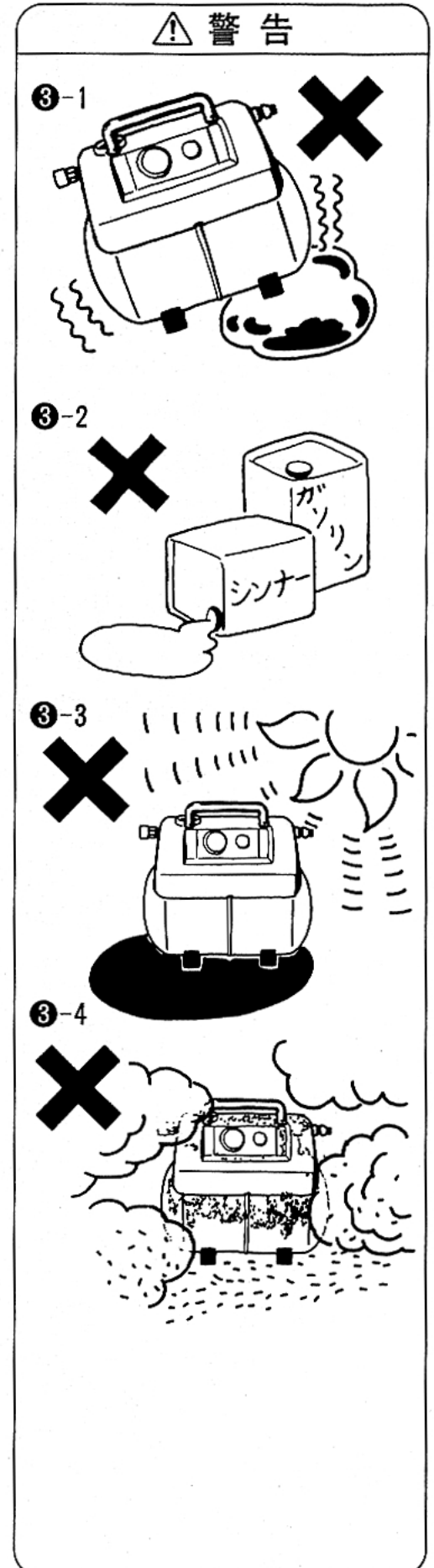
2. 火気や燃えやすいもののそばには絶対に設置しない。

3. 高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などに設置する。

4. ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には絶対に設置しない。

5. 適正な設置方向に必ず設置する。

1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な設置をしてください。



2

⚠ 警告

安全作業のために

④本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。

⑤本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は使用しない。
12ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。

※下記の場合には故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。
2. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・降下）しない。

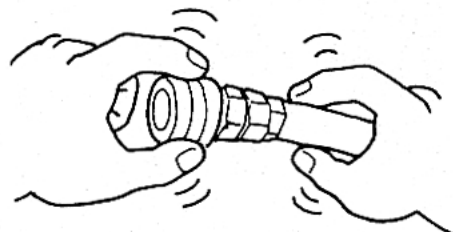
異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⑥大切に扱う。

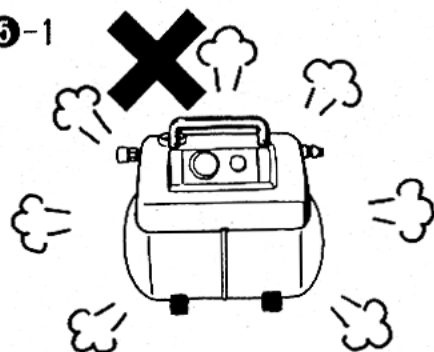
落としたり、ぶついたりすると故障の原因となります。

⚠ 警告

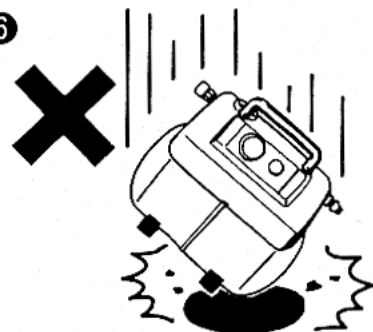
④



⑤-1

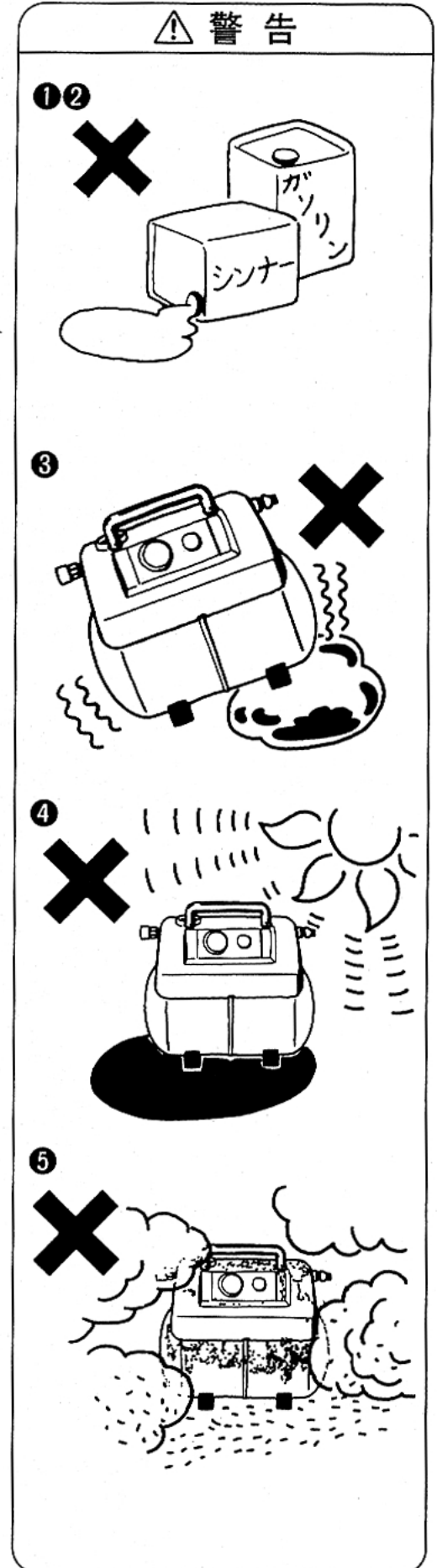


⑥



作業中

- ①揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。
- ②火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。
- ③不安定な場所では絶対に使用しない。
移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。
- ④高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで使用する。
- ⑤ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所では絶対に使用しない。
- ⑥適正な設置方向で必ず使用する。
1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な使用をしてください。



2

⚠ 警告 安全作業のために

⑦ 上部に座ったり物をのせることは絶対にしない。

⑧ 異常を感じたら絶対に使用しない。

機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに使用をやめ、点検・修理に出してください。

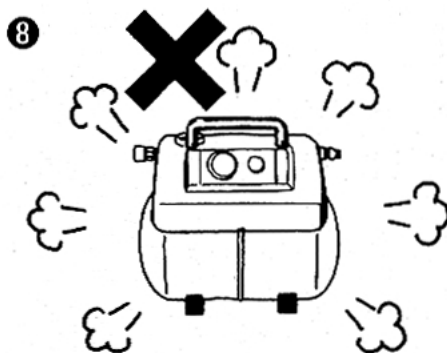
作業後

① 作業終了時には、必ずドレンコックをゆるめエアタンク内のドレン（水など）と圧縮空気を排出する。

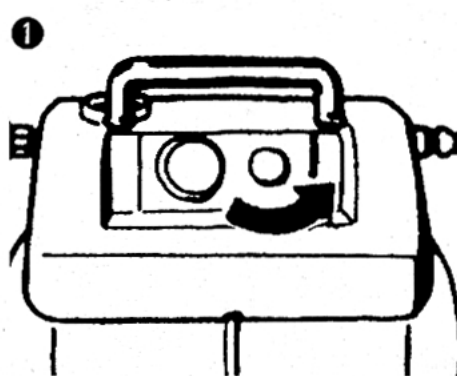
② 本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、損傷のない最良の状態に保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。

⚠ 警告



⚠ 警告



2

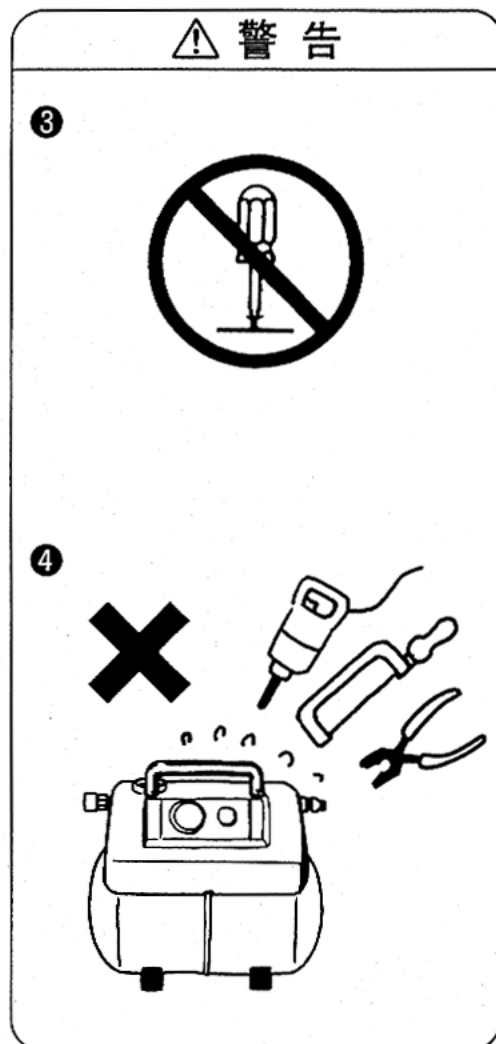
⚠ 警告 安全作業のために

③ 本機を絶対に分解しない。

万一故障した時は、点検・修理に出してください。

④ 本機に改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。

本機を改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので絶対に行わないでください。





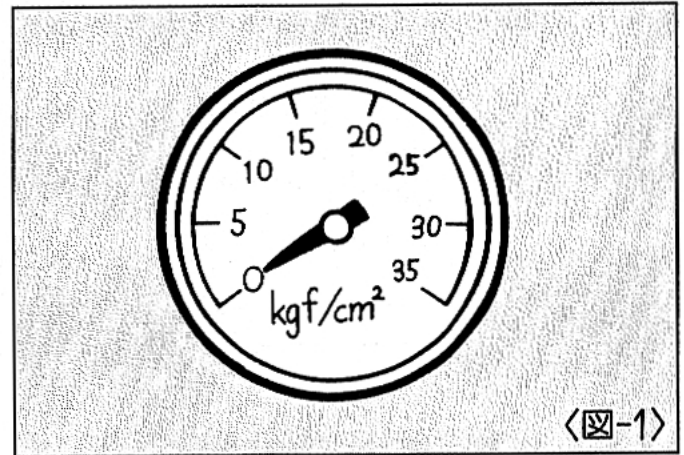
仕様及び付属品

項目	商品仕様
商品名	マックスエアタンク AK-TH12R
商品記号	AK-TH12R
寸法	高さ342×幅228×長さ374mm
重量	8.0kg
エアタンク容量	12ℓ
最高使用圧力	25kgf/cm ² 以下 (2.45MPa)
消費時内蔵圧力	30kgf/cm ² 以下 (2.94MPa)
エア取出口	専用エアチャック 1ヵ所 (特殊ねじ仕様)
エア取入口	リークバルブ機構内蔵、専用エアプラグ
付属品 (エアチャック)	専用エアチャック 1個 (コンプレッサ取付用) (特殊ねじ仕様)

※本機とコンプレッサをつなぐエアホースは付属していません。

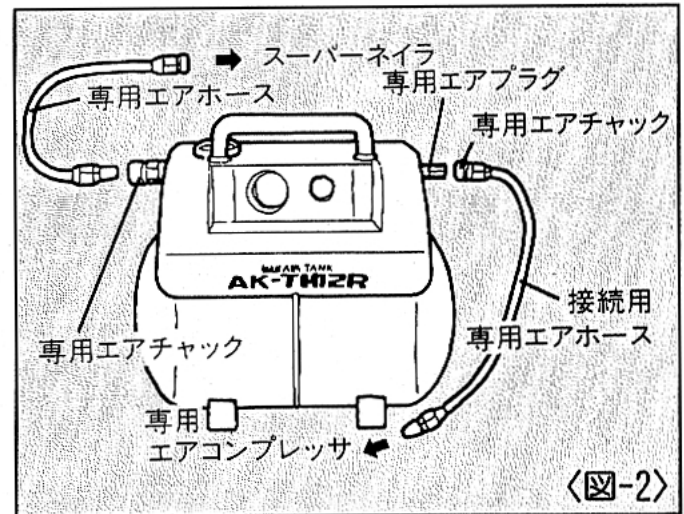
4 コンプレッサとの接続方法

- 本機は専用エアコンプレッサと接続して、スーパーネイラを使用することで最大限の効果を発揮します。他の一般エア工具用コンプレッサとの接続はできません。
- コンプレッサが停止しているかどうか、又、圧力計を見て、タンク内に空気がないかどうかを確認してください。〈図-1〉



- 右の図のように、専用エアホース(別売)を利用して本機の専用エアプラグ側を、コンプレッサと接続してください。

〈図-2〉



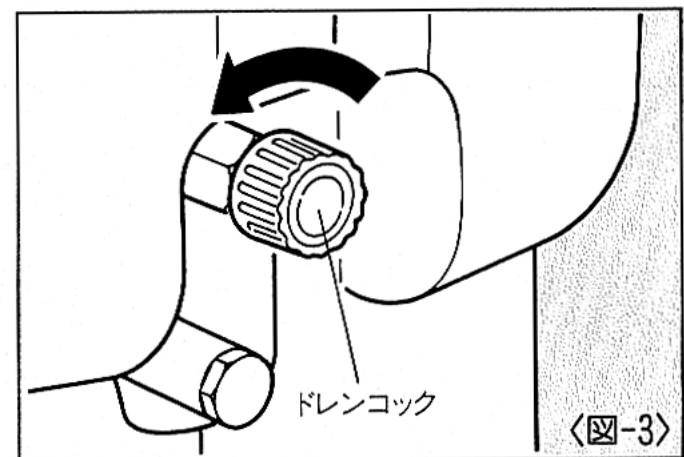
- タンクの専用エアチャックは、スーパーネイラとの接続に使用し、コンプレッサとの接続には使用しないでください。

本機の補助タンク接続口を使用する場合

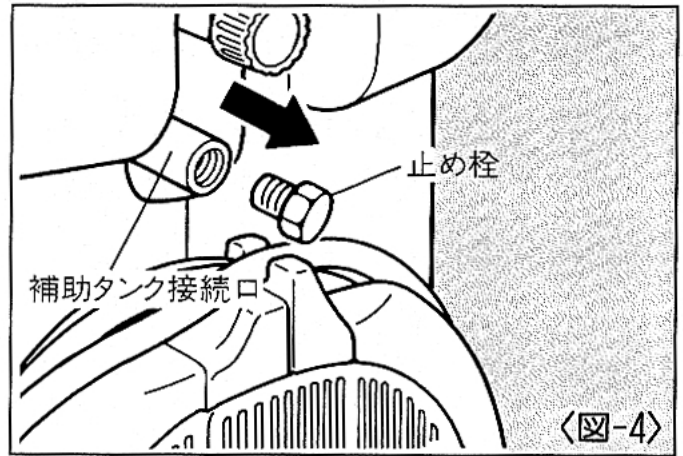
専用コンプレッサには、専用補助タンク接続用の専用エアチャックが装備されていませんので、タンク付属品の専用エアチャックを使用してください。

- ①コンプレッサのドレンコックを開放し、タンク内に圧縮空気がないことを確認してください。

〈図-3〉



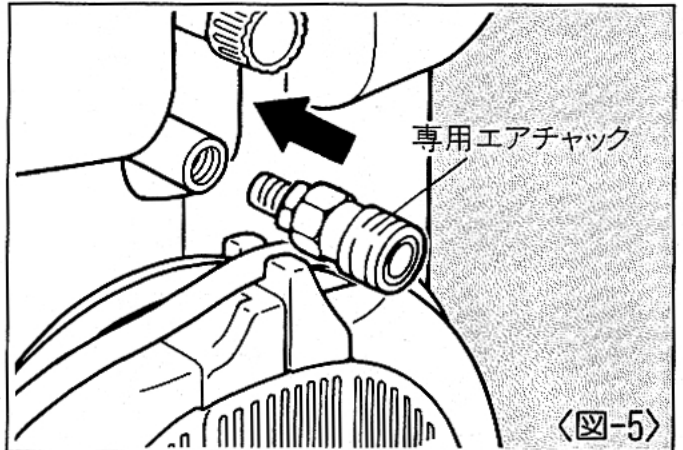
- ②コンプレッサの補助タンク接続口を、スパナ17ではずします。 〈図-4〉
 ※このプラグは逆ねじになっています。右回り（時計の針の回転方向）でゆるめ、左回りで締め込みます。



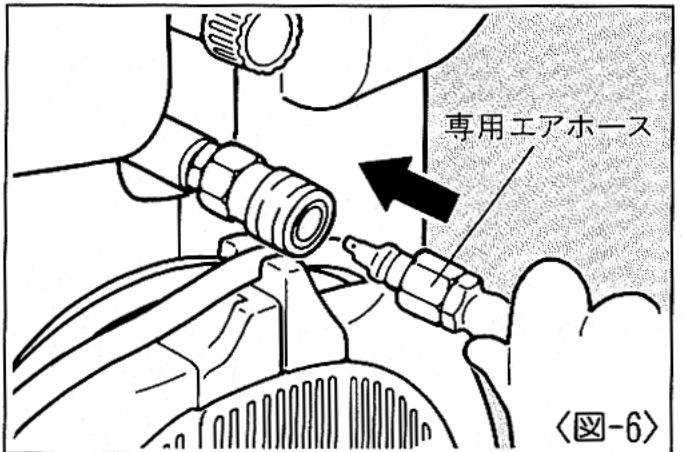
⚠ 警告

- エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずす。

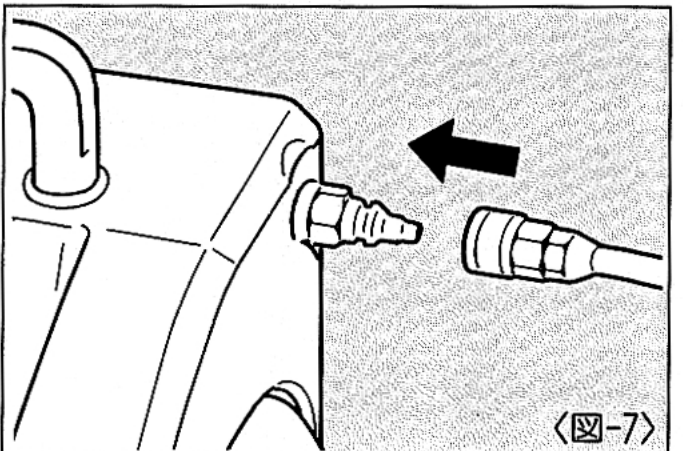
- ③本機付属品として同梱されている専用エアチャックを専用コンプレッサの専用補助タンク接続口に接続します。 〈図-5〉
 ※左回りで締め込みます。



- ④専用補助タンク内へ圧縮空気を供給するための専用エアホース（別売）の専用エアプラグを、専用コンプレッサに取り付けた専用エアチャックに接続します。 〈図-6〉



- ⑤取り付けた専用エアホースの専用エアチャック側を、本機の専用エアプラグ（専用エア取り入れ口）に接続します。（マックス専用エアホース以外は使用できません。） 〈図-7〉



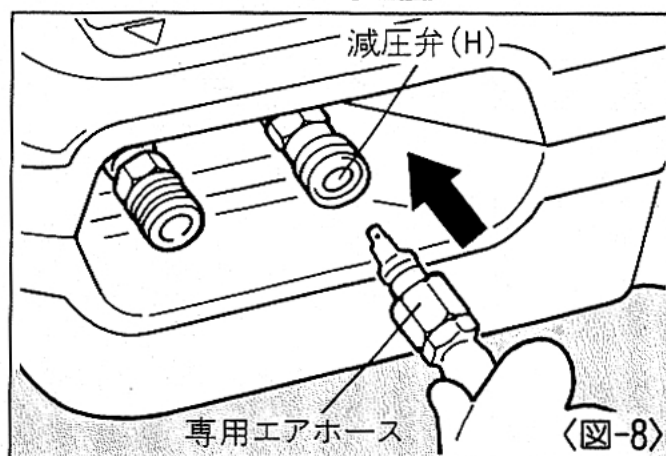
⚠ 警告

- タンクの専用エアチャックは、マックス指定のスーパーネイラとの接続に使用し、コンプレッサとの接続には使用しない。

コンプレッサの空気取り出し口(減圧弁後)を使用する場合

- ①本機タンク内へエア供給するための専用エアホースの専用エアプラグを、専用コンプレッサの空気取り出し口エアチャックH(減圧弁H後)に接続します。

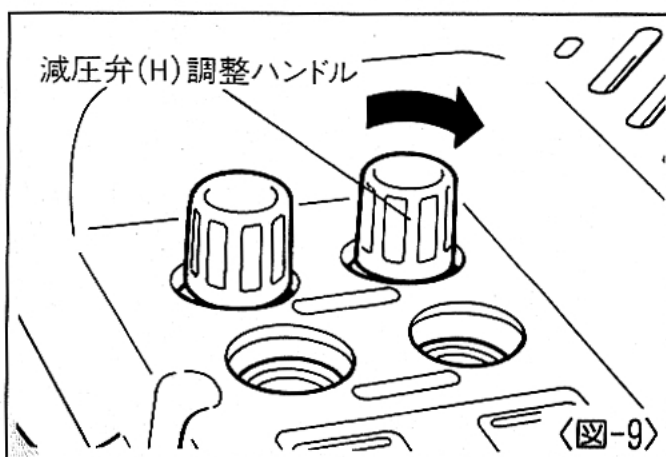
〈図-8〉



- ②コンプレッサの減圧弁(H)調整ハンドルを右へいっぱい回してください。

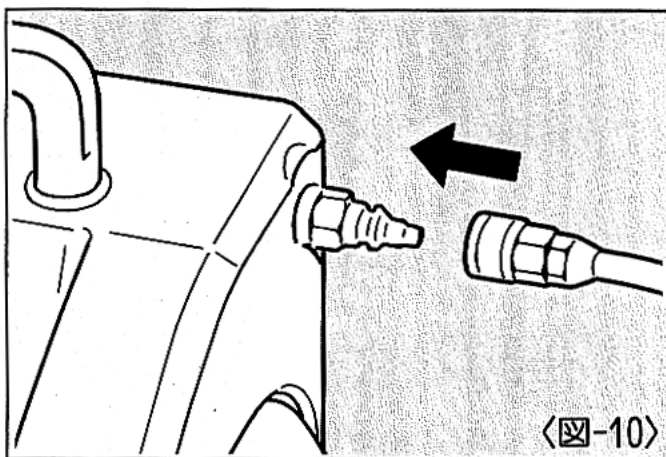
〈図-9〉

→本機タンク内には減圧弁(H)より取り出せる最高圧力を充填します。



- ③取り付けた専用エアホースの専用エアチャック側を、本機の専用エアプラグ(専用エア取り入れ口)に接続します。

〈図-10〉



5 使用方法

運転前の点検・確認

⚠ 警告

- 使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。
- 適正な設置方向で必ず使用する。

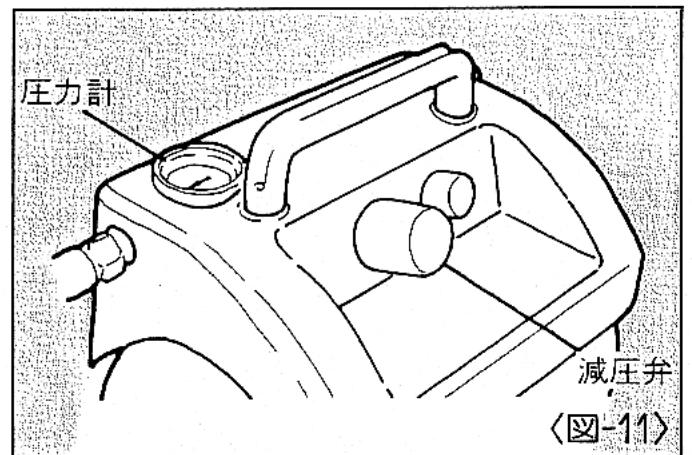
※ 2ページの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。

※ 文中の圧力数値については、圧力計の読み取り誤差を含んでいません。

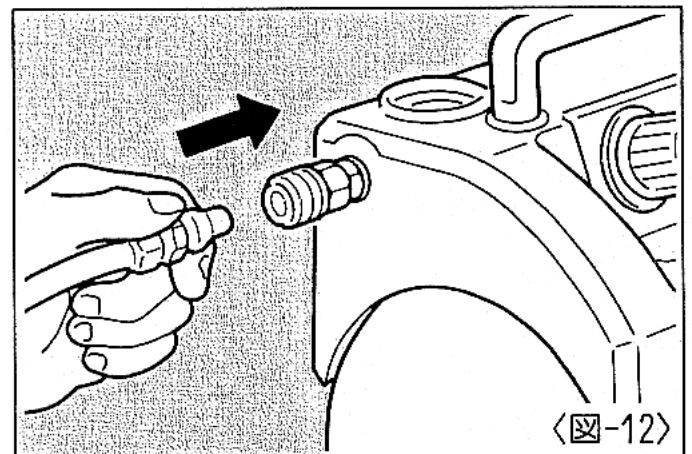
- ① 接続が完了しましたら、コンプレッサの電源スイッチを入れて（ONにして）、本機タンク内に圧縮空気を充填してください。

⚠ 警告

- エア漏れが発生したら使用しない。

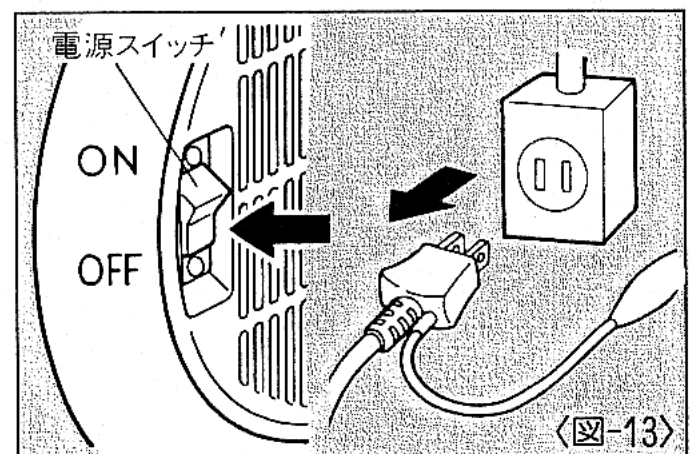


- ② エア工具の使用圧に合わせて本機の減圧弁を調整してください。（調整圧力範囲 0.5~25.0kgf/cm²） 〈図-11〉

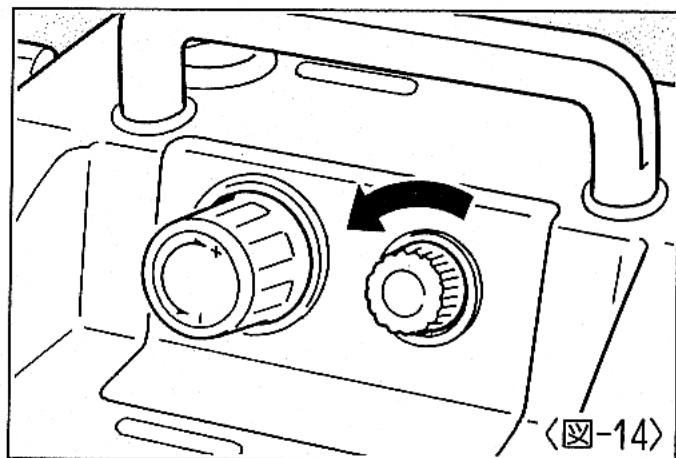


- ③ 本機の専用エアチャック（専用エア取出口）に専用エアホースを接続し、スーパーナイラを使用してください。 〈図-12〉

- ④ 作業が終わりましたら、コンプレッサの電源スイッチを切り（OFFにして）、電源コードのプラグをコンセントから抜きます。 〈図-13〉



- ⑤ 本機と専用コンプレッサのドレンコックを開放し、タンク内の空気とドレン（水など）を完全に抜きます。 〈図-14〉
- ⑥ 本機と専用コンプレッサを接続している専用エアホースを取りはずします。

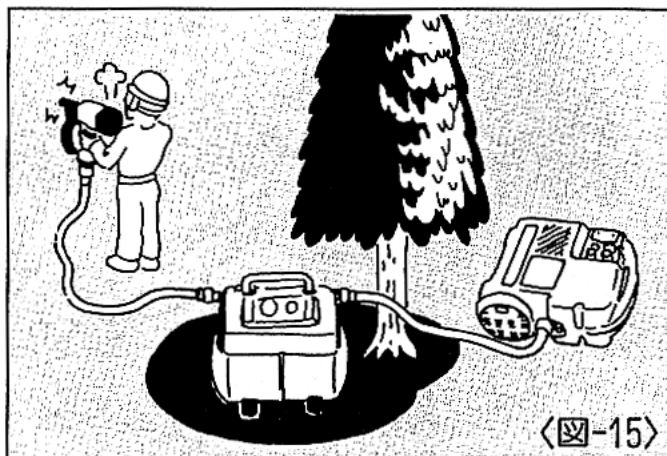


⚠ 警告

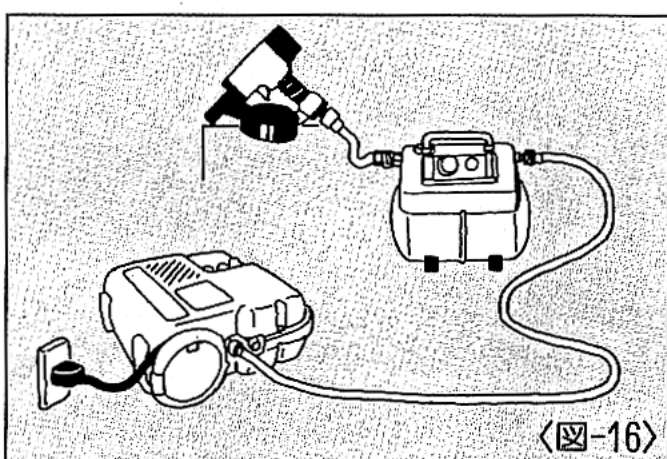
- タンク内に圧縮空気が入った状態で専用コンプレッサ側の専用エアチャックを外さない。

6 その他の留意点

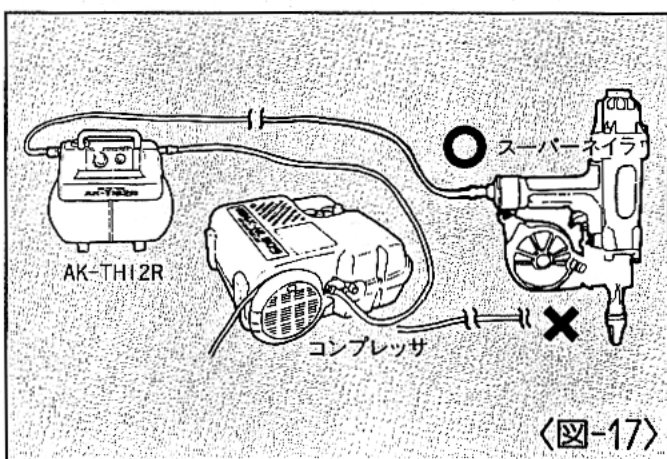
- ①本機を、風通しのよい日陰などに設置し、専用コンプレッサと本機の接続専用エアホースを長くすることで、エア工具内に流入するドレン（水）量を最小限に抑えることができます。（ドレンは、本機タンク内にたまります。） 〈図-15〉



- ②コードリール使用によるコンプレッサの電圧降下トラブルを緩和させるためにコンプレッサを元電源で運転させ、接続エアホースを長くして（30m以内）使用することが可能です。 〈図-16〉



- ③専用エア工具の使用は必ず本機の専用エアチャックに接続して使用してください。
※コンプレッサ本体のエアチャックにエア工具を接続して使用した場合、本機タンク内に溜った圧縮空気が、本機に内蔵してある逆止弁の影響によりコンプレッサ側に流れにくくなっている関係で、本機的能力は著しく低下します。 〈図-17〉



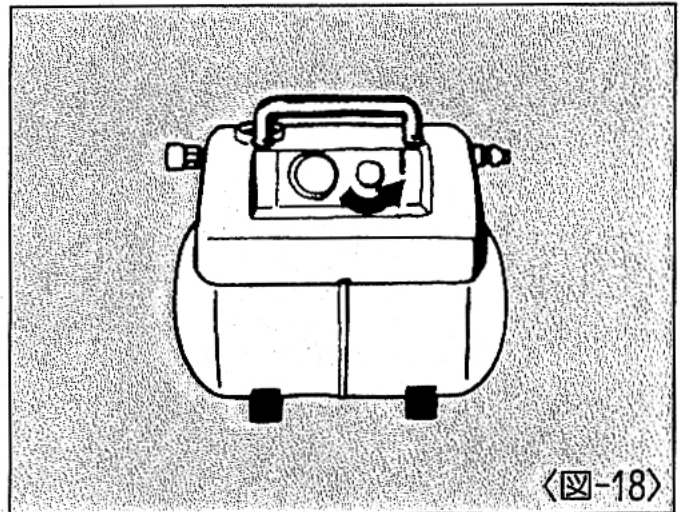
7 性能を維持するために

① 本機の水抜きをする。

作業終了時はドレンコックを開放し、エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。

〈図-18〉

※水抜きを行わないとエアタンク内に発生する錆が急速に進行し、故障の原因となります。



〈図-18〉

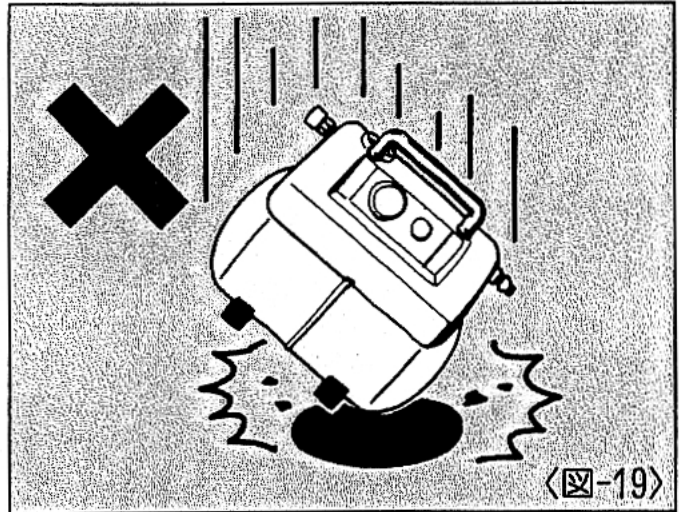
② 定期的に点検する。

本機の性能を維持すめ為に清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス株にお申しつけください。

③ 本機を大切に扱う。

落としたり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。

〈図-19〉



〈図-19〉

④ 使用毎に必ず点検する。

2ページの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行ってください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部	〒103	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌店	〒060	札幌市中央区大通り東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台店	〒983	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031(代)
広島店	〒733	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020	盛岡市仙北町下野18-1	TEL(019)635-5575(代)
宇都宮営業所	〒321	宇都宮市築瀬町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
柏営業所	〒277	柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500
多摩営業所	〒187	小平市小川町2-1253	TEL(0423)44-6268(代)
川崎営業所	〒213	川崎市高津区久地597-1セブンエース久地1F	TEL(044)844-4700(代)
浜松営業所	〒433	浜松市高丘町150-1	TEL(053)439-3300(代)
岐阜営業所	〒501-61	羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551(代)
泉州営業所	〒596	岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211(代)
神戸営業所	〒658	神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220(代)
北九州営業所	〒802	北九州市小倉北区三朗丸3-6-20久野ビル1F	TEL(093)931-3733
南九州営業所	〒891-01	鹿児島市東谷山6-17-7	TEL(099)269-5347
新潟マックス(株)	〒955	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス(株)	〒310	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
群馬マックス(株)	〒379-22	佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス(株)	〒331	大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒390	松本市笹部1-6-25	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-22	長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422	静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921	金沢市森戸2-15	TEL(0762)40-1871(代)
富山営業所	〒930	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒910	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス(株)	〒612	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒673-04	三木市大村高柳109-1	TEL(07948)3-2121(代)
岡山マックス(株)	〒700	岡山市野田3-32-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761	高松市上天神町761-3	TEL(0878)66-5599
徳島営業所	〒770	徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790	松山市天山町28-1	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)本社	〒330	埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815
マックスサービス(株)名古屋	〒461	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
マックスサービス(株)福岡	〒812	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430
マックスサービス(株)広島	〒733	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
マックスサービス(株)仙台	〒983	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。